

三心を磨く

学校だより NO. 24
平成30年 7月25日(水)発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久 教頭
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

平成30年度 1学期終業式

校長講話

はじめに、7月の西日本豪雨災害では、200名を超える方々がお亡くなりになり、今なお、避難所生活をされている方や、被災した家の片づけをされている方々が多くいらっしゃいます。



お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。連日の猛暑の中、各地から駆け付けたボランティアの方々の協力を得て、少しずつではありますが復旧、復興が進んでいると聞いています。そのような中、生徒会を中心として、迅速に募金活動を進めてくれ、先日、須坂市社会福祉協議会を通して、被災地の復興に役立てていただけるように、届けさせていただきました。中心となった生徒会のみなさん、また、募金に協力してくれた生徒のみなさん、先生方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

4月5日、46名の1年生を迎えてスタートした1学期も、今日で終わります。74日間あった1学期ですが、みなさんにとって実り多い学期になったでしょうか。今、3人の代表のみなさんが、「1学期を振り返って」を発表してくれました。3人とも確かな手ごたえを感じた1学期であったことが伝わってきました。学習、部活動、生徒会や行事、仲間づくり、それぞれに努力の成果があったと思います。

さて、みなさんは、学校だより「三心を磨く」を読んでいるでしょうか。毎週、教頭先生がご苦労して書いてくれています。すでに、今年になってから20号以上が発行されています。その中でみなさんの頑張った姿、昨年の校長講話で話した「美しい学校」について、多くの記事が紹介されています。今日は1学期の中でのみなさんの「美しい姿」を振り返ってみたいと思います。

4月の学校だよりでは、今年の生徒会のメイン活動である「縦割りチーム」による活動が始まったことが紹介されています。合唱や清掃、大縄跳びなどの運動に関して、「後輩が先輩」に「先輩が後輩」に学ぶ機会としてスタートしています。



また、「当たり前のことを当たり前」と題して、放課後の教室や移動教室時の机、かかどがそろえられた3年生の下駄箱等、整理整頓が行き届いた姿が紹介されています。教室や下駄箱、日頃から使っている場所が整えられていることは、みなさんの心が整っている証だと私は思います。

5月には、トイレ清掃の様子が紹介されています。昨年度、昇降口前のタイルを、黙々と膝をついて雑巾がけをしてくれている3年生の姿がありましたが、今年は、トイレ清掃でも、膝をついて丁寧に床の雑巾がけをしていくれている3年生の姿がありました。たった10分間の清掃ですが、これだけ綺麗に清掃してもらおうと、使う方も「綺麗に使おう」という気持ちになります。同時に、生徒のみなさんだけでなく先生方も、一緒になって「三心清掃」に取り組んでくれました。「三心清掃」は、「無言で、

隅々まで、最後まで」が目標です。先生方も三心清掃に取り組み、その取り組みの後ろ姿でみなさんを指導してくれていました。まさに師弟同業だと思います。

6月に入ると部活動の大会が始まりました。選手のみなさんに力を発揮してもらおうと、2年生が中心となって応援団を組織し、最後の大会に臨む3年生に、大きな声で精一杯のエールを送ってくれました。緊張感の中に、真剣なまなざし、本気のエールが聞こえ、見ていてもとても気持ちの良い応援であり壮行会でした。同時に、美術部のみなさんが、ステージに昨年度に負けじと素晴らしい各部への応援旗を制作してくれました。これから大会に臨む選手にとっては大きな励みになったことと思います。



美術部のみなさん、ありがとうございます。

7月には、アズマデーがありました。1年生は、職場見学に、2年生は、2日間の職場体験に、3年生は福祉学習に取り組みました。私も、すべてではありませんが、挨拶のために、2年生の職場体験の職場に訪問させていただきました。職場の方々からは、とても一生懸命に取り組んでくださいます、挨拶や返事がはきはきしていて、こちらが学ばせてもらいました等、2年生の取組を大変評価させていただきました。

また、1学期を通して生徒会が中心となって、挨拶運動やアルミ缶回収、コスモス街道作業などに取り組んでくれました。みなさんの、東中学校を、そして地域を明るくしようとする気持ちの表れと、とても嬉しく思います。本当に、様々な場面で、みなさんの素晴らしい姿を見せていただいた1学期であったと思います。

みなさんの活動のすべてを紹介することができず申し訳ありませんが、このように見ると、そこには、東中生として一生懸命に取り組む美しい姿、「美しい学校」にしようとする、みなさんのひたむきな態度があるように思います。またそこには、自分の立ち振る舞いをしっかりとしたものにして、みなさんの素直な心があるように思います。そしてそこには、そのような生徒のみなさんと、歩みを共にする先生方の真摯な姿がありました。これが今の東中の姿だと思います。

明日から27日間の夏休みが始まります。夏休み中は、みなさんが中学生として、どれだけ自分自身の力で生活できるのか試される時です。充実した生活を送るためには、自制心が大切です。怠け心を克服していくことが、自分自身の力で生活することに繋がります。交通事故や水の事故、熱中症に十分注意し、普段の生活の中では、なかなかできないことを計画的に楽しんでください。

1年生は、この一学期をしっかりと見返し、学習や生活を具体的に軌道修正する内容を決め、2学期の始業式を意識して生活してください。2年生は、部活動や生徒会の引継ぎをはじめ、やがてくる最上級生になる日のことを意識して生活してください。そして3年生は、半年後に必ずやってくる卒業の日を意識するとともに、自分の進路をしっかりと見つめた夏休みにしてください。

私から3年生に一言。「1日10時間、勉強しなさい」。充実して中身のある1学期が送れたことをみんなできめ合い、1学期終業式の校長講話とします。8月22日、全員元気で会いましょう。

◇先日、西日本で起きた「平成30年7月豪雨」に対し、本校生徒会が「何かできることは」と考え、7/18・19・20の3日間「募金」が行われ、「61,326円」が集まりました。7/24に須坂市社協より、3名の皆さんが来校され、募金を手渡しました。この募金は、日本赤十字社を通して、被災者の方々のために使用されます。短期間でしたが、すぐに考え、行動した生徒たちの行動力に未来を感じました。

